

琉球大学学術リポジトリ

石炭紀秋吉生物礁複合体の形成メカニズムと時代遷移過程の解明

メタデータ	言語: 出版者: 長井孝一 公開日: 2009-03-26 キーワード (Ja): 秋吉石灰岩層群, 石灰紀, 生物礁複合体, 化石サンゴ礁, 造礁生物, 古生態, 古環境, 石灰岩 キーワード (En): Akiyoshi Limestone Group, Carboniferous, Organic reef complex, Fossil reef, Reef-building organisms, Paleoecology, Paleoenvironment, Limestone 作成者: 長井, 孝一, 杵山, 哲男, Nagai, Koichi, Sugiyama, Tetsuo メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/9391

石炭紀秋吉生物礁複合体の形成メカニズムと
時代遷移過程の解明

(研究課題番号 08640595)

平成8年度～平成9年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))
研究成果報告書

平成10年3月

研究代表者 長井孝一
(琉球大学理学部助教授)

はしがき

本報告書は平成8，9年度文部省科学研究費補助金（一般研究(C)(2)）による「石炭紀秋吉生物礁複合体の形成メカニズムと時代遷移過程の解明」（研究課題番号：08640595）の研究成果をとりまとめたものである。

本研究の目的は，秋吉石灰岩層群下部層（石炭系）中に発達する生物礁フレームワークを構築する化石群を古生態学・古環境学的に解析し，これら化石群の石炭紀を通じて消長（時代遷移過程）を明らかにするとともに，秋吉生物礁複合体の形成メカニズムと地史を解明することである。

研究代表者らは平成8，9年度の2年間にわたり，秋吉台西の台地域の石灰岩採石場内で精力的に野外調査を行うとともに，石灰岩と造礁化石群の試料の採集を行った。さらに，これらの採集試料を大型の研磨石板試料に加工委託するとともに，多くの石灰岩・化石薄片を作製した。野外調査データおよび作製した試料の観察データに基づき，当初の研究目的を達成すべく努力してきたが，完全に成しえたとは言い難いのが現状である。

本報告書では，現時点までに得られている研究成果について，主に研究テーマの前半部を「石炭紀秋吉生物礁複合体の形成過程」としてまとめ報告するものである。研究テーマの後半部の「秋吉生物礁複合体の時代遷移過程」については，今後できる限り早い時期に成果をとりまとめ公表する予定である。

研究組織

研究代表者 長井 孝一（琉球大学理学部助教授）
研究分担者 杵山 哲男（福岡大学理学部教授）

研究経費

平成8年度	1, 200千円
平成9年度	500千円
計	1, 700千円

研究発表

(1) 学会誌等

1. Ueno, K., Nagai, K., Nakornsri, N. and Sugiyama, T. (1996) : A new Moscovian foraminiferal fauna from Huai Luang, east of Wang Saphung, Changwat Loei, Northeast Thailand. *Jour. Southeast Asian Earth Sciences*. vol.14, nos.1/2, p.79-89.
2. Ueno, K., Sugiyama, T. and Nagai, K. (1996) : Discovery of Permian foraminifers and corals from the Ratburi Limestone of the Phatthalung area, southern Peninsular Thailand. *Prof. H. Igo Commemorative Volume*, p.201-216.
3. Sugiyama, T. (1997) : New observations on some Carboniferous Heterocorallia. *Bol. Real Soc. Esp. Hist. Nat. (Sec. Geol.)*, vol.91, nos.1-4, p.163-176.

(2) 口頭発表

1. 長井 孝一 : 秋吉生物礁複合体中に見られる堆積不連続構造の特徴と堆積学的意義について, 炭酸塩コロキウム in Okinawa (宜野湾セミナーハウス) . (1997, 12)

研究成果

1. 長井 孝一：石炭紀秋吉生物礁複合体の形成過程
----- 5 ~ 43

2. 長井 孝一：秋吉生物礁複合体中に見られる堆積不連続構造の特徴
と堆積学的意義について
----- 44 ~ 46

3. Sugiyama, T. (1997) : New observations on some Carboniferous Hetero-
corallia.
----- 47 ~ 59